

I 経営の基本理念

- 1 学校は、子どものためにある。
- 2 学校は、子どもの幸せな将来のためにある。
- 3 学校は、子どもたち一人一人のよさを引き出し伸ばすためにある。

II 学校教育目標「創造」「信頼」「健康」

【目指す生徒像】自ら学び、自ら鍛え、自他を尊重し、社会に主体的にかかわる生徒
「創造」

- ・目標を持ち、進んで学習できる生徒
- ・人の話をよく聞き、自分の考えが言える生徒
- ・分かり、できるまで粘り強く取り組む生徒

「信頼」

- ・明るいあいさつや返事ができる生徒
- ・思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒
- ・正しい判断に基づき、自ら進んで行動する生徒
- ・社会に主体的に関わり、貢献しようとする生徒

「健康」

- ・困難に負けず、最後までやり遂げられる生徒
- ・自ら進んで心と体を鍛えようとする生徒
- ・進んで健康で安全な生活を送る生徒

【目指す学校像】活気に満ちた魅力ある学校

- 1 潤いのある学校
- 2 秩序のある学校
- 3 学力を伸ばす学校
- 4 夢をはぐくむ学校

【目指す教師像】「厳しさ」と「あたたかさ」を兼ね備えた、日々研鑽する教師

- 1 心身ともに健康で、明るく完気な教師
- 2 生徒一人一人のよさを引き出し、伸ばし、生かす教師
- 3 深い生徒理解に基づき、個に応じて適切に対応する教師
- 4 生徒・保護者・地域住民の「よきモデル」となる教師
- 5 教育公務員としての自覚を持ち、学び続ける教師

III 学校教育目標を具現化するための「合言葉」

『チャレンジ!～創造力を生かして～』

受動的でなく、失敗を恐れずに挑戦してほしい。自分らしい発想ややり方を工夫しながら学び、行動することは自分のよさ発見し、自信につながると考える。

IV 経営の基本方針

- 1 一人一人の生徒を温かく見守り、目と心を離さない教育を実践する。
- 2 実態に即した特色ある教育活動を創意工夫する。
- 3 PDCA サイクルの確実な実施に基づく教育課程の検証と改善を図る。
- 4 安全で潤いのある教育環境を創る。
- 5 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の連携により、家庭・地域と共に歩む学校づくりを推進する。

V 本年度の重点

1 安全指導の徹底

(1) 命: 学校生活で最も大切にすべきことは、生徒の「命」です。安全で安心な学校づくりを推進する。生徒が自分の命、相手の命を大切にできるよう指導する。

・「命の大切さ」について安全意識を積極的に啓発。

・「いじめ」を積極的に認知し組織で解消。

⇒①「登下校時の交通安全指導」「不審者対応指導」の適宜実施。(週末の帰りの会等)

②「道徳教育」の推進(授業のみならず、全教育活動で意識)

③「やりとり帳」による生徒の把握(担任による丁寧な扱い)

④「心のアンケート」の実施

(2) 人権教育: 生徒に、同和問題、多様な性、人種、新型コロナ関連等、世の中の色々な差別をきちんと認識させ、差別との向き合い方を理解させることで不当な差別を根絶する。

・「人権意識」を積極的に啓発。

⇒①「人権集会」の実施(プレゼン指導等)

②「人権担当による啓発」(人権の集いに向けた取り組み)

(3) 防災意識: 生徒に「自分の命は自分で守る」という意識を醸成する。

・「実効性のある避難訓練」「生徒主体の安全点検」の実施

⇒①「全校一斉(告知有)」「合同引取り(1学期)」

②「定期安全点検(毎月実施)」を「教師による点検」から「生徒主体の実施」に

2 学力の向上と定着

(1) 学ぶ楽しさと学習への心構えを育成する。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。

(3) 各教科における「主体的・対話的で深い学び」の充実、「YKC(読み・書き・コミュニケーション)」「見方・考え方」を働かせた授業づくりへの授業改善を行う。

(4) ICT機器等の活用を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現を図る。

※「わくわく感のある授業づくり」「主体的・対話的で深い学び」「YKCの実践」「ICTの効果的な活用(一人一台タブレット、大型TV、AIドリル)」

3 積極的な生徒指導による「自己指導能力の育成」

(1) 生徒たちのよさを認め、褒め、褒め、問題行動については毅然とした態度で厳しく指導する。

(2) 「自己有用感の高揚」を意識し、積極的に「未然防止の人間関係づくり」を推進する。

・「生徒の良さ」を明示、共有。

⇒①「ポプラ賞」の励行

②生徒理解

③「良い面も報・連・相」(良い行いについてもハウレンソウ)

・「保護者との連携」を密に

⇒①「スピードは誠意」で対応(早期対応に努める とにかく一報を)

②「情報提供」を随時

・「自己有用感(自分は集団の役に立っている)」を意識させる指導

⇒①生徒指導部と特別活動部の連携(学級活動や行事等での積極的仕掛け)

4 教職員の働き方改革の推進

(1) 限られた時間の中で効果的な教育活動を行う姿勢を推進する。

⇒①「働き方改革推進委員会」の充実。